

## グリル

2008年12月21日 イラスト変更 & 文章を少し改変



### 設定

本名「グリル=シャミオール=ダガスティー」。  
ポップスターに住む種族の1つ「マジカルーマ族（魔法を扱える種族）」の少女で、15歳。  
**マルク**の妹。

マジカルーマ族の中ではマルクに次ぐほどの実力があり、持っている魔力も相当なものだが、彼女自身は「兄さんにはどうしても勝てない」と言っている。  
兄と違って変身はできないが、箒に乗って空を飛ぶ事ができる。  
その時に使う箒は、彼女が10歳の時に亡くなった母親「ローラ=ミアリース=ダガスティー」の形見らしい。

何も無い空間からブロックを出現させ、それを魔法で投げつける「シュートブロック」、炎を飛ばす「フレイムボール」、標的の頭上に雷を落とす「サンダーレイン」など、兄に負けず劣らずの強力な技を持っているが、彼女自身はあまり好戦的ではない。

相手の能力や弱点などを分析できるという特殊な能力もっており、敵と戦う場合はそれで相手の弱点等を調べて戦いを優位にすることができる。  
相手の弱点や能力だけでなく、性格や長所・短所を調べる事もできるという。  
しかし、彼女自身はその能力が邪道だと思っている為、戦いで使われることはほとんど無い。

数年前に(洗脳されていた)マルクが引き起こした『ポップスター征服未遂事件』の時は、彼女はとある用事でポップスターを離れていたため、兄があのような悪行を犯していたという事は、  
事件解決後にカービィから教えられるまで知らなかった。カービィから教えられた後は、ノヴァに激突して重傷を負ったまま宇宙を漂っている兄を救い出すべく彼女は単身宇宙に飛び出し、  
四散しているノヴァの破片の中から何とかマルクを見つけ出してすぐにポップスターに帰還し、  
仲間のマジカルーマ族と共に魔法で治療をした結果、マルクは一命を取り留めた。

常に帽子を被っており、兄以外の者の前で帽子を外す事もないため、彼女の帽子の下を見た者はマルク以外にいない。  
マルクが言うには、帽子の下の髪は綺麗な緑色で、地面に届きそうなほど長いロングヘアになっているらしい。

一人称は「私」。  
性格は兄同様に優しく正義感があり、他の者も認めるほどの兄想いな面もある。  
また、兄よりも背が高いのだが、兄がそれを気にしている事を彼女は知っている。